

OPINION

中部経済新聞

ナビゲーター

私はカメルーンのヴァレリー、結婚し4人の子供を生み41歳です。組織心理学者、感情知能コーチ、カイゼンコンサルタント・トレーナーでもあります。4年前に戦略策定や組織開発を支援するコンサルティング会社「AB PH

日本への期待
世界各地から其
147

日本からの学びと私

ることです。

私の事業は、大きく3分野です。まず品質と生産性の向上でカイゼン、5S、工程の改善、標準化を含みます。ついで戦略策定と組織構築、これは事業計画、戦略展開、能力開発が含まれます。さらに社員のウェルビーイングと管理者へのコーチングです。これは、心理学的な支援と積極的なリーダーシップを専門とし、女性のリーダーシップを拡大するための専門部署を設けています。

カメルーンから

一昨年名古屋で開催された研修コース「カイゼンとその向こうへ」に参加し、その翌年のフォーアアップにも遠隔出席しました。日本からは、重要な影響を受けました。戦略立案や持続可能な経営管理のための新しい技法・手法やテクニクを学び、それにもまして本来あるべき方法論に触れることができました。

帰国後、私は複数の国家のプロジェクトに関わっています。ひとつは「PADESC E」、成長のための競争力強化、雇用促進のために中等教育の発展を支援するプロジェクトです。展開中、コンプライアンスに沿うかどうか監視する役割を担いました。もうひとつは事業計画プロジェクト「PFSAIE」で、適応型社会セーフティネットと経済的包摂プロジェクトです。両者は、世界銀行からの支援を受けています。

自社で定期的に「カイゼンの日」を主宰し、産業リーダーのために事業経営とリーダーシップをテーマにマスタークラスを開講しています。またカメルーン、セネガル、コートジボワールに派遣されているJICA専門家と協力し、カイゼンコンサルタントと企業向け研修を行っています。

産業を支援し、維持可能な経営管理を伝導できる信頼されるパートナーになることを志しています。カイゼンや社会や環境面での責任やリーダーシップに焦点を合わせた支援を提供したいです。日本は精緻な方法論や百年を超える経験や作業面での優位性から、私のスキルや戦略的シナジー創出を強化できます。

膨らむエネルギー、デジタル技術、健康福祉、アグリビジネスへの需要に支えられ、

アフリカは急速に成長する市場だと確信します。投資すれば、新興経済圏に合わせた解決策を実施できる戦略的な機会を日本は見つけるはず

アフリカは創造性、困難からの回復能力、人材の活力を、日本に対して提供できると確信します。横浜で開催されたTICAD9では、工業化と人材育成の推進を強調し、私の確信を強化してくれました。アフリカと日本の協力は双方のやりとりで、未長く続くパートナーシップとなるでしょう。

【アヤンマ・ヴァレリー、
リム中産連】
(月曜日に掲載)